

◎ バイオディーゼル燃料取組実態等調査の結果概要 (平成29度実績)

* 調査対象事業体

- ・バイオディーゼル燃料原料の回収・購入、バイオディーゼル燃料の製造、利用に取り組んでいる全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会会員及び会員の傘下団体
- ・バイオディーゼル燃料施策・事業に取り組んでいる市区町村
- ・その他バイオディーゼルに取り組んでいる事業者等

* 調査対象期間

- ・平成29年4月1日～平成30年3月31日における実績
(調査時期:平成31年1月～平成31年2月)

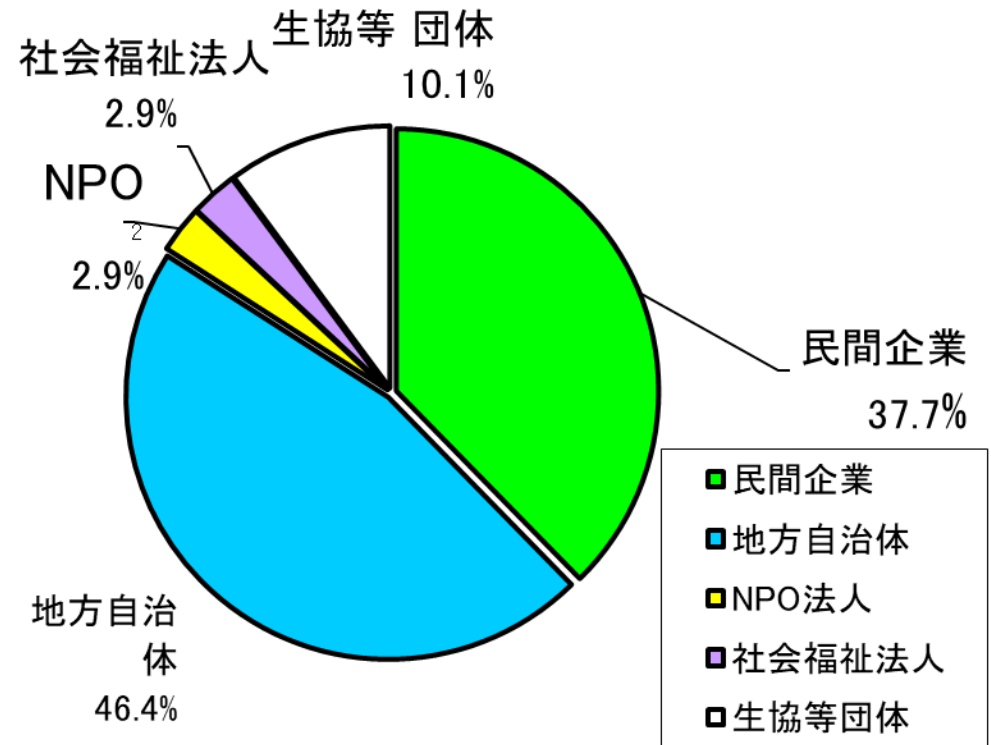
* 調査実施者

- ・全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会

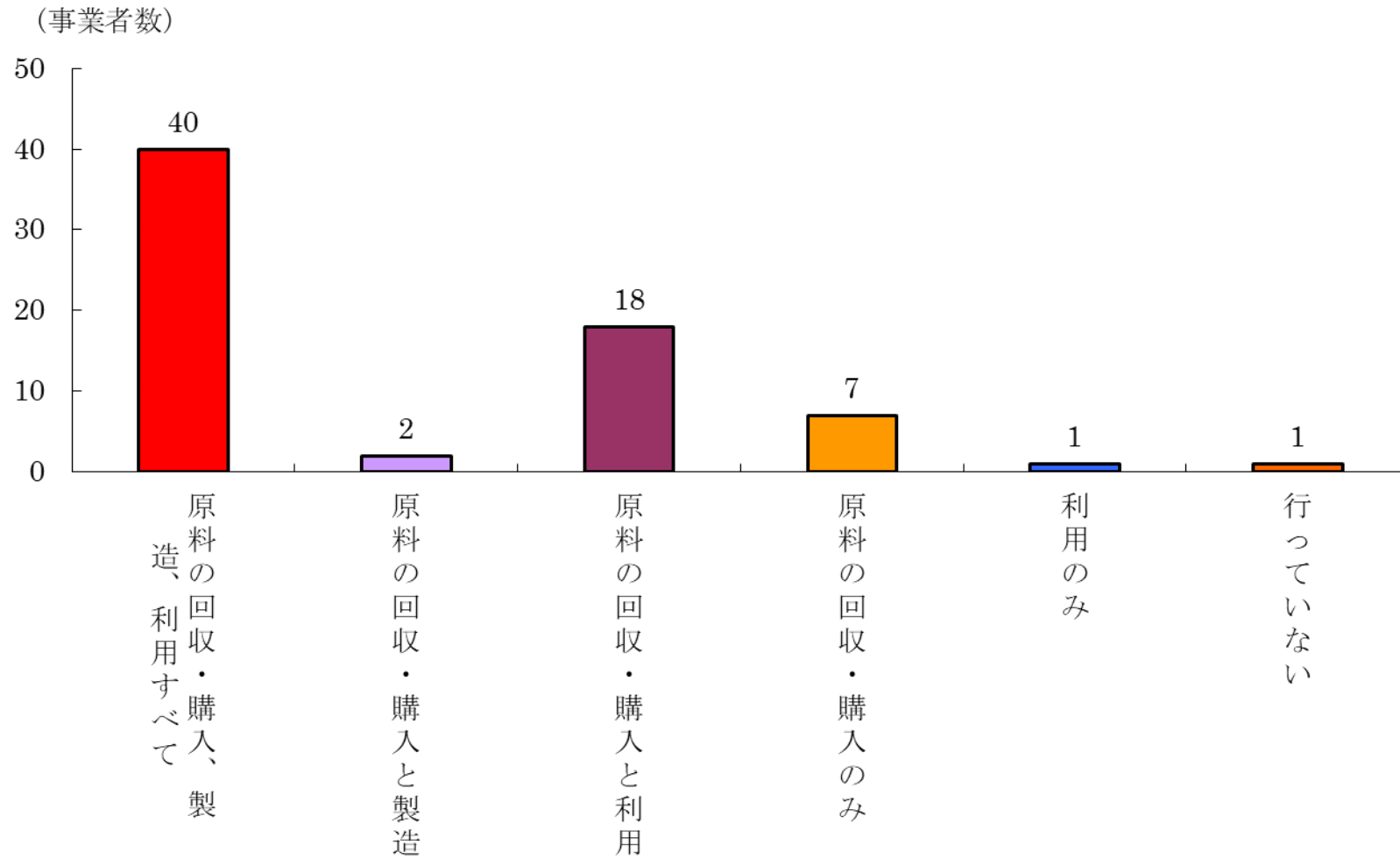
バイオディーゼル燃料の取組主体の組織

69事業者から回答があった。

組織	事業者数	割合(%)
①NPO法人	2	2.9
②民間企業	26	37.7
③地方自治体	32	46.4
④社会福祉法人	2	2.9
⑤生協等団体	7	10.1
合計	69	100.0

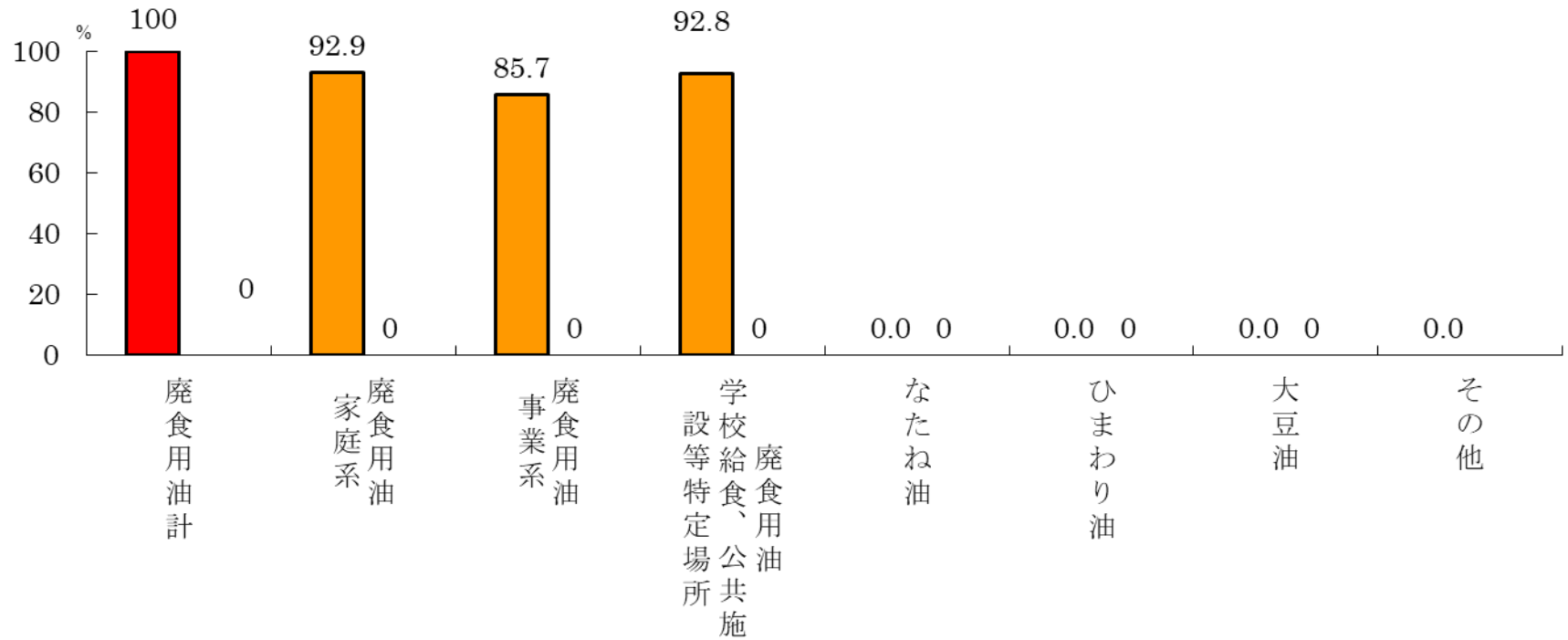


取組形態



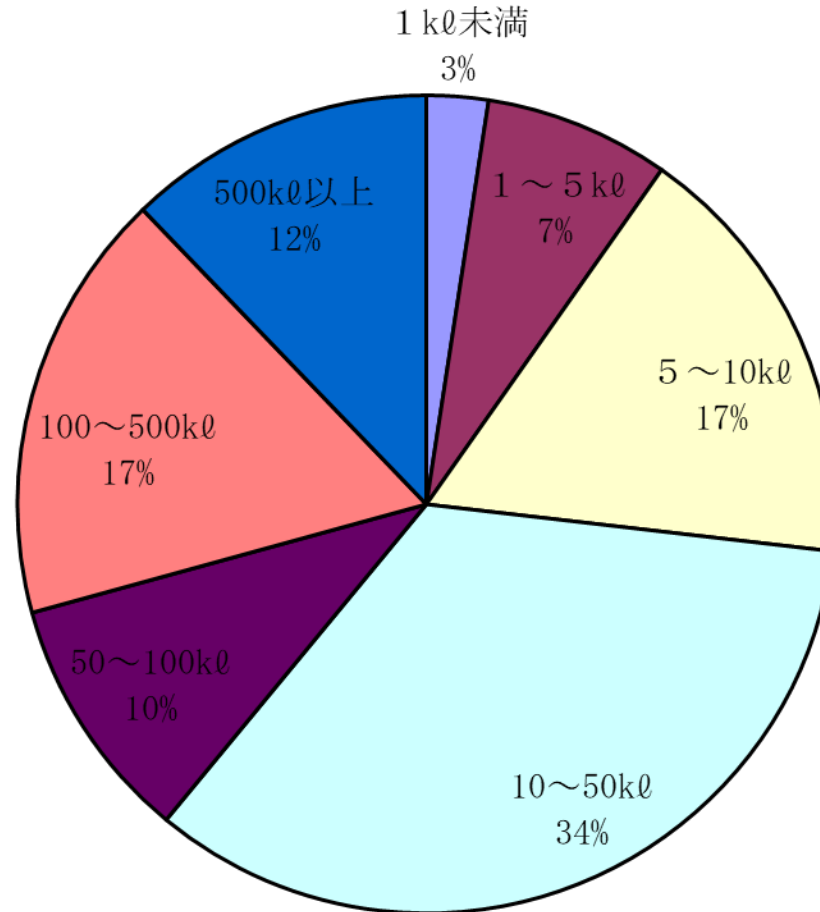
バイオディーゼル燃料原料の種類

燃料製造者(42事業者)の全てが「廃食用油」を利用している。
前年度から原料調達先に大きな変動はみられないが、事業系の回収回答数が若干減少した。



バイオディーゼル燃料製造量の規模(年間)

1事業者あたりの製造量の規模としては、年間10~50kℓが多い。



製造量と製造コスト

①年間製造量：13,527kℓ(該当事業者41/平均330kℓ)

・全体的に、平均稼働日数が増えたが、回答した事業者合計では製造量は僅かに減少した。(昨年回答集計：13,902kℓ)

* 前年比：増産/9者、横ばい/3者、減産/29者

* なお、事業者の燃料製造稼働日数は、平均152日であった。

②製造率：94.4%(回答事業者38の相加平均)

・投入原料から製造したバイオディーゼル燃料数量の割合

③製造コスト：305.8円/ℓ(回答事業者27の相加平均)

・回答のうち人件費等で高額の事象があり、協議会として推定(概算水準)すると約117円/ℓが計算される。

車両等の種類別利用割合

- ◎ 60事業者から利用していると回答があった。（回答者数は前年同数）
- ・トラックやごみ収集車利用の実数回答は横ばいであったが、農林機械等で積極的にトラクター利用を進めた事業者からの回答が目をつけた。
 - ・今回の台数はB 1 0 0利用のみを集計しているが、軽油混合（B 5）利用の回答も確実に増加している。台数は正確に把握できる回答が得られず、台数として「*」印を入れている。次年度には実数を把握したい。

用途	ごみ収集車	バス	スクールバス	公用車	トラック	乗用車	農林機械等	建設現場	発電機	熱源	その他(特殊自動車等)
台数	277 *	23 *	2 *	22 *	413 *	16 *	45 *	14 *	24 *	11 *	== *
事業者数	15	7	2	10	19	6	10	4	10	8	17
数量未回答事業者	8	5	3	6	7	2	1	4	1	3	7

協議会活動に対する要望(66者から複数回答)

- ・車両以外の用途拡大の指針
- ・軽油引取税の見直し
- ・バイオディーゼル燃料に関する情報提供

などを挙げる事業者が多く、特に「車両以外の用途拡大の指針」の声が多くなる傾向が見える。

